様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

2023年　6月　20日

枚方市長　殿

提出者
住　所　大阪府大阪市浪速区敷津東1-2-47
クボタ第二ビル6
氏　名　階
(株)クボタ建設　大阪支社
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　06-4396-2351

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	K枚方営繕 K枚方汚染土壌
事業場の所在地	大阪府枚方市中宮大池1-1-1
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

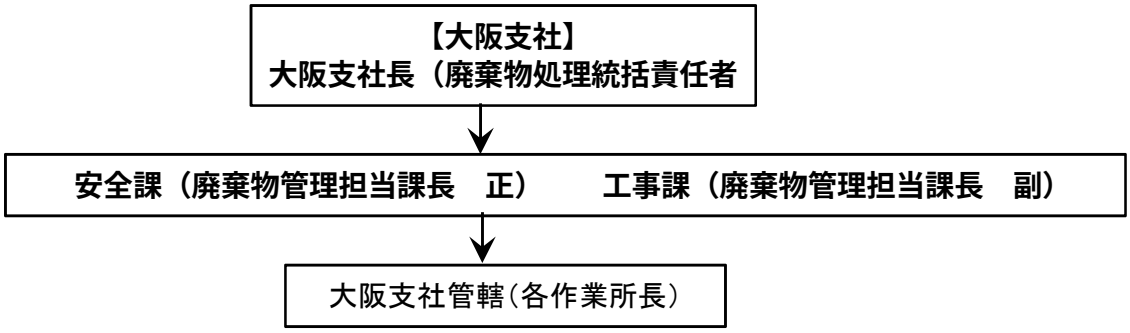
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06　総合工事業
②事業の規模	年間売上高　244億42百万円（令和４年度実績）
③従業員数	407名（令和４年４月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・建設汚泥　処理業者(脱水)委託(再資源化) ・廃プラスチック　処理業者(破砕選別)委託(再資源化) ・紙くず　処理業者(破砕選別)委託(再資源化) ・木くず　処理業者(破砕)委託(再資源化) ・繊維くず　処理業者(破砕選別)委託(再資源化) ・金属くず　処理業者(破砕選別)委託(再資源化) ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　処理業者(破砕選別)委託(再資源化) ・石膏ボード　処理業者(破砕)委託(再資源化) ・がれき類　処理業者(破砕)委託(再資源化) ・建設系混合物　処理業者(破砕選別)委託(再資源化) ・石綿含有廃棄物　処理業者(埋立)委託

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和　4　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	
排　出　量		5　t

別紙１のとおり

（これまでに実施した取組）

グループ会社の工場よりの工事受注状況等により排出物や排出量に影響がでる傾向がある。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	
排　出　量		0　t

別紙２のとおり

（今後実施する予定の取組）

産廃排出量は工事量に連動し変化するためこれを計る事は難しいが、施主と協議し廃棄物発生が抑制されるよう努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
工場内からの排出になる為、排出物については分別を行い排出に努めます。
石綿含有廃棄物については、特に分別を行っています。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状を維持し、適正管理に努める。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2023年4月1日～2024年3月31日</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当無し</td></tr>
</table>

別紙１のとおり

別紙２のとおり

別紙１のとおり

別紙２のとおり

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t

別紙１のとおり

（これまでに実施した取組）

該当無し

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t

別紙２のとおり

（今後実施する予定の取組）

該当無し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和　４　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
2023年4月1日～2024年3月31日	1　t	0.5　t
優良認定処理業者への処理委託量	0　t	0　t
再生利用業者への処理委託量		0.5　t
認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t

別紙１のとおり

（これまでに実施した取組）

優良認定を受けた処分業者をなるべく選定するよう排出事業場(現場)担当者に情報提供し、優良認定業者への委託を進めるよう指示してきた。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
		全処理委託量	0 t	0 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） 優良認定業者のリストを排出事業場(現場)担当者に情報提供し、優良認定業者への委託契約比率をさらに向上させる。		
※事務処理欄				

別紙２のとおり

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

前　年　度【令　和　4　年　度】　実　績　【別紙1】

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市浪速区敷津東1-2-47　クボタ第二ビル6階	株式会社　クボタ建設　大阪支社	安全課		06-4396-2351	06-4396-2352	

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																		
コード	名称	①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	当該及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	(⑩＝①-②-③-④+⑤-⑥-⑦-⑧-⑨＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯) 委託先による区分 ⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑰優良認定処理業者への処理委託量(t)	②+⑧ 自ら再生利用を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
コード番号	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑧の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑫、⑬除く)	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収業者への処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑫～⑭を除く)	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1	0200 汚泥	1									1	1						0	0
2	0800 木くず	0.5									0.5	0.5						0	0
3	1300 ガラスくず等	50.5									50.5	50.5					50.5	0	0
4	1500 がれき類	93.44									93.44	93.44					19.44	0	0
5	1501 コンクリート破片	1,034									1034	1034					130	0	0
6	1502 アスファルト・コンクリート破片	355									355	355					23	0	0
7	2020 管理型建設系混合廃棄物	12.8									12.8	12.8						0	0
8																		0	0
9																		0	0
10																		0	0
11																		0	0
12																		0	0
13																		0	0
14																		0	0
15																		0	0
16																		0	0
合計		#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今　年　度　【令　和　５　年　度】　目　標　［別紙2］

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市浪速区敷津東1-2-47　クボタ第二ビル6階	株式会社　クボタ建設　大阪支社	安全課		06-4396-2351	06-4396-2352	

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																			
		①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	（⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ ＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯）						⑰役及認定処理業者への処理委託量(t)	⑱+⑲ 自ら再生利用を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
												委託先による区分									
												⑪再生利用業者への処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)				
コード番号	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑪、⑫除く)	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑪～⑬を除く)	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、広域認定処理業者への委託処理量	②の量と⑱の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)
1	0200	汚泥																0	0
2	0800	木くず																0	0
3	1300	ガラスくず等	10								10	10					10	0	0
4	1500	がれき類	20								20	20					5	0	0
5	1501	コンクリート破片	150								150	150					30	0	0
6	1502	アスファルト・コンクリート破片	80								80	80					15	0	0
7	2020	管理型建設系混合廃棄物	3								3	3						0	0
8																		0	0
9																		0	0
10																		0	0
11																		0	0
12																		0	0
13																		0	0
14																		0	0
15																		0	0
16																		0	0
17																		0	0
18																		0	0
19																		0	0
20																		0	0
	合計	263	0	0	0	0	0	0	0	0	263	263	0	0	0	0	60	0	0

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。